

(様式3)

## 女性農業者活躍促進計画

実施主体名	有限会社のむら農産 代表取締役 野村佳史
取組	(2) 女性が働きやすい環境整備に向けた施設等の確保
構成員数	18名(うち、女性の人数:14名) (令和3年4月時点)

### 1 事業実施方針

#### 1)背景

当社は餅米の栽培から餅米加工品製造・販売までを一貫して行う農業法人である。現在、小松市内耕地面積総数 3890ha のうち、22ha を耕作し社員数は 18 名、うち 14 名が女性である。

立地は小松市街地より 10 km 程度離れており校区としては最東部の山間部にあたり、車両通勤が必須となり、通勤時間も 10 分以内の近隣からの出勤者が大半(女性 14 名中 13 名)である。その通勤時間 10 分以内の約 5 km 圏内には、市内人口 10.7 万人のうち、1.5 万人(14%)が居住しており、就業者は 7998 人、うち女性は 4121 人である。また、市内統計より第 1 次産業就業者割合は 2.1%であることから算出すると女性は約 87 人となり、農業法人の当社が雇用可能な人数は限られていると考えている。



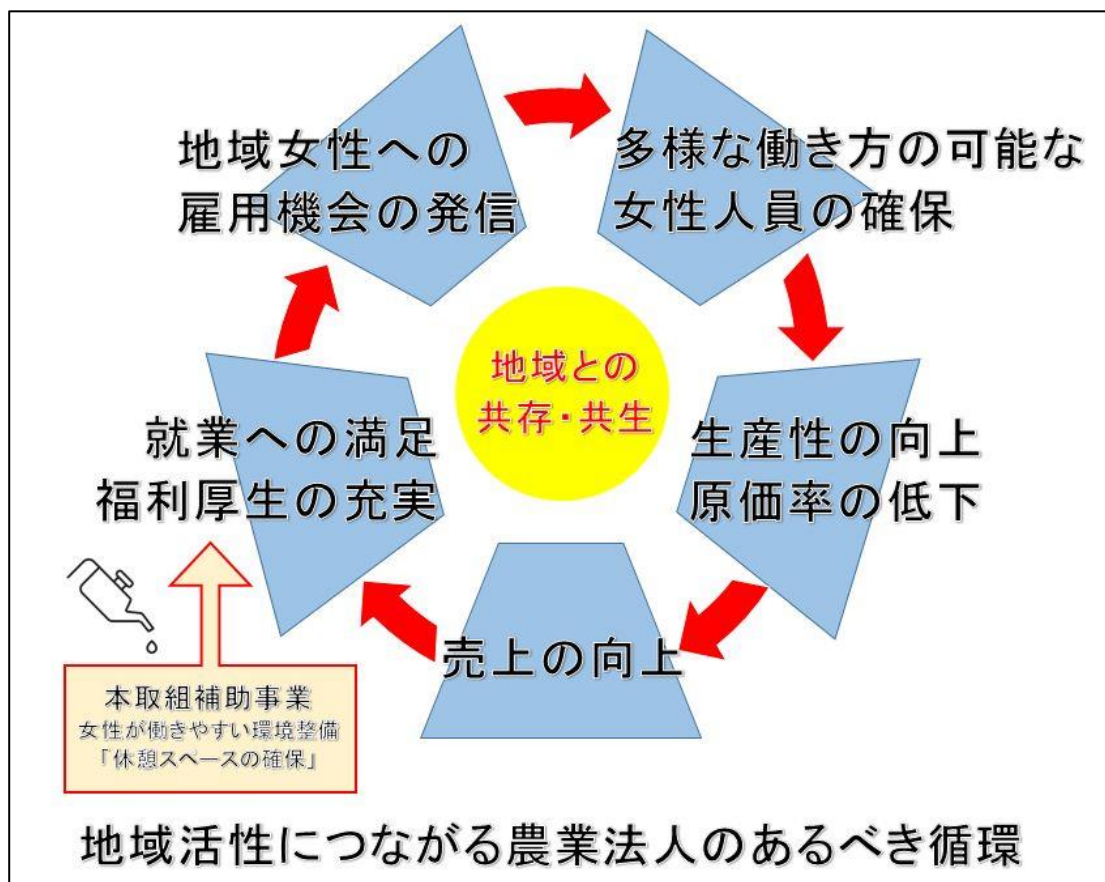
第1次産業就業者数	1,143人	2.1%
第2次産業就業者数	20,088人	37.6%
第3次産業就業者数	32,214人	60.3%
小松市就業者総数	53,445人	

#### 2)課題

可能な限りの福利厚生の手当や制度は取り入れているものの、社内には休憩を目的とした設備はなく、貴重な戦力である女性たちが充実して働ける環境整備は先送りになっていることが現状課題である。

### 3)方策

本取組補助事業を活用し、「休憩スペースの確保」を行うことで女性が働きやすい環境整備の改善の一助を図りたいと考えている。



### 4)将来

売上の向上と携行して、更なる女性の働きやすい制度や環境整備などの福利厚生充実と就業への満足を図り、地域女性への雇用機会の発信から地域女性の雇用者の増進という地域との循環形成の中で、地方活性につながる農業法人を目指す。

## 2 女性農業者活躍に向けた実施体制

「休憩スペースの確保」への実施体制

### ①施工計画内容

社屋内において、現在、物置スペース(コンクリート土間)になっている 32 m<sup>2</sup>(4m×8m)の空間を昼食もとれる休憩室にリフォームを計画。

#### ○冷暖房完備：

エアコン+断熱材壁面+ドア+窓サッシ

#### ○靴脱ぎ休憩室：

コンクリート土間からの床上げ絨毯張り

#### ○机・椅子を配備

#### ○電気設備：

蛍光灯+コンセント(電子レンジや湯沸かし器用)

#### ○体調不良者発生時のベットスペースの確保



### ②施工予定業者

J Aホーム (株式会社 J A建設エネルギー)

### ③施工見積



施工見積金額 2,800,000 円

内補助金申請額 2,545,455 円

施工見積書※別途添付

3 女性農業者活躍のため実施している取組及び今後の取組

(1) 女性の就農希望者、新規就農者の呼び込みに向けた取組


内容	成果/目標	備考
<p>(実施中の取組)</p> <p>1)在籍雇用者からの呼びかけ求人 2)ハローワークでの求人</p> <p>(今後の取組)</p> <p>1)在籍雇用者の満足度向上            本事業を含め、企業として何かできるかを常に考える向上姿勢と行動が就業に対する満足度を高め雇用機会の創出につながるものとする。</p> <p>2) ホームページからの女性活躍ページのアップ            近隣住民の女性を中心とした雇用体制であることを女性の活躍する写真や休憩スペースで和気藹々と昼食をとる写真などをホームページ等で発信することは雇用機会の創出につながるものとする。</p>	<p>1)福利厚生要望アンケートの実施（毎年6月）</p> <p>2) ホームページ写真年2回更新（毎年1月・6月）</p>  <p>—店舗前にて記念撮影—</p>  <p>—よもぎ採取中—</p>	<p>1)「働きやすい職場環境を進めるためのアンケート用紙」は※別途添付</p> <p>2)ホームページアドレス：  <a href="https://www.nomura-nousan.co.jp/">https://www.nomura-nousan.co.jp/</a></p>

(2) 女性の新規就農者の農業や地域への定着に向けた取組

内容	成果/目標	備考
<p>(実施中の取組)</p> <p>1)産休制度</p> <p>2)子ども事情等の休暇・退勤への受入体制(緊急含む)</p>	<p>1)2012年5月～3カ月間の制度利用実績あり</p> <p>2)希望する休日の届け</p>	

3)日曜祝日出勤手当 4)車両通勤手当 (10 km以上) 5)バースデー・フラワープレゼント 6)短時間勤務など出勤要望の受入体制 7)所定時間外労働 (残業) の免除体制 (今後の取組) 1)多様な雇用機会の提供 当社のような6次産業は「営農」「加工」「販売」と多様な雇用機会を有することから「労働時間の在り方」「福利厚生 of 充実」「多様な働き方の実現」と制度体制や環境整備を構築することで、女性が活躍する地方型農業法人のモデルケースとして発信できる。 2)里帰り出産応援休暇制度 3)リフレッシュ休暇 (有給休暇とは別で) 4)車両通勤手当 (5 km以上)	3)時給換算 100 円 UP 4)20 円/km 5)全社員に 6)申出により受入 7)申出により免除 1)「営農部」「加工部」「販売部」への主体配属と他部への要請と快諾の上での併行配属可能(推進目標) 2)制度整備の向上(目標) 3)制度整備の向上(目標) 4)制度整備の向上(目標)	
---	--	--

### (3) 女性農業者の活躍に向けた取組

内容	成果/目標	備考
(実施中の取組) 1)現場執行権限を持つ課長職の付与と手当 2)女性目線の新商品開発やパッケージデザイン採用	1)現在の女性課長役職者 かきもち製造課長 ：田川陽子 朝生餅製造課長 ：田中京子 店舗運営課長 ：岡野広美 2) 女性目線の新商品開発  —発酵甘酒ヨーグルトソフトクリームを開発—	



<p>3)食育を含む体験型催事への参画</p> <p>(今後の取組)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1)管理職部長の付与と手当</li> <li>2)技能や資格取得支援</li> <li>3)県主催の営農研修への参加</li> <li>4)女子会手当</li> </ol>	<p>2)女性目線のパッケージデザイン</p>  <p>—バレンタインデー餅の商品化とデザイン構成—</p> <p>3)体験型催事の参画</p>  <p>— 大福づくりの講師役—</p>  <p>—田植体験補助への参画</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1)昇給制度の見直し整備</li> <li>2)年間1回程度(目標)</li> <li>3)研修募集の都度(目標)</li> <li>4)年間1回程度(目標)</li> </ol>	
--	--	--

4 女性の活躍推進対策事業を活用した取組の計画内容

働きやすい環境整備への支援

【計画内容】

時期	内容（対象者・方法等）	備考
令和3年8月～10月	<p>&lt;働きやすい環境整備への施工内容&gt;</p> <p>社屋内にて、現在、物置スペースになっている32㎡の空間を昼食もとれる休憩スペースへリフォームする。</p> <p>冷暖房設備を考慮した改装を行い、靴を脱いで休憩できるように土間からを床上げする。更に机やイスの配置や電気設備も完備する。また、体調不良者が横になれるベットスペースも確保する。</p> <p>&lt;施工業社と選定理由&gt;</p> <p>J Aホーム（株式会社J A建設エナジー：市内上小松町丙83-7）</p> <p>卸売上の大半はJ A農産物直売所（卸売上高3980万円のうち3383万円）であることから施工業社を選定。</p> <p>&lt;施工見積&gt;</p> <p>施工見積金額 2,800,000 円</p> <p>内補助金申請額 2,545,455 円</p>	<p>施工見積書※別途添付</p>

5 女性農業者確保の目標

事業実施年度翌年度までの 女性農業者の新規確保人数	3 人
(新規確保女性農業者の内訳) 自営農業就業者 0人、雇用就農者 3人、アルバイト・ボランティア等 0人	

<予定売上増額高と予定雇用補充人員数の表>

		米売上 (万円)	餅売上 (万円)	他売上 (万円)	総売上 (万円)	売上増額 (万円)	補充人員 数(目安) (人)
	2020年	612	3080	6077	9769	-	-
1年目	2021年	700	3640	6110	10450	681	1.4
2年目	2022年	780	4200	6140	11120	1351	2.7
3年目	2023年	860	4760	6170	11790	2021	4.0
4年目	2024年	940	5320	6200	12460	2691	5.4
5年目	2025年	1020	5880	6230	13130	3361	6.7

特に秋季営農繁忙期の9月から餅需要最盛期の12月までは新米出荷や包装餅生産など作業人員不足が生まれており、首都圏の卸業者からの引合いもあるものの、現状に有する引合い先でも十分な需要対応が取れていないのが現状である。米や餅の生産体制や出荷体制を見直し整備することで5年後には3,361万円増額(米340袋/30kg+餅6.2万袋)の売上が見込まれ、それに伴い雇用者も6.7人の補充確保が必要であると考えている。

表の「補充人員数」は通年雇用する上での目安であり、当社繁忙期の9月～12月に対応できる短期雇用(年間30日以上従事)可能な人員数は含まれていない。

以上